



かがやき

佐世保市立庵浦小学校 学校だより

平成28年5月24日 第5号

文責：山口 仁子

めざす児童像： **かんがえる子ども** **がんばる子ども** **やさしい子ども** **けじめのある子ども**

連合運動会へ向けて



29日の連合運動会まであとわずかになりました。子どもたちの練習も仕上げの段階を迎えています。今年の大大会スローガンは「かがやけ！庵浦」です。自分たちも地域の皆さんも共に輝いて、思い出に残る最高の運動会にしたいと張り切っています。

5月18日には、学校で「庵浦音頭」「炭坑節」の踊りの練習がありました。地域の皆さんが18名も参加してくださり、体育館ににぎやかな声が響き、楽しい練習の場となりました。

運動会当日も多くの皆さんに参加していただき、みんなで盛り上げていきたいと思ひます。



田んぼで がたりンピック



学校水田に水をはって田植えの準備を進める中、泥んこになって遊ぶ体験をさせようということで、庵浦版がたりンピックをおこないました。はじめは恐る恐る足を踏み入れていた子どもたちも、だんだんとはしゃいできて、泥だらけで走り回りました。お洗濯は大変だったでしょうが、子どもたちにとって体全体を使って思いきり遊ぶ体験はとても貴重なものであると思ひます。

がたりンピック

3年 森山 大希

5時間目の前は、「よごれたくないなあ。田んぼにおちたくないなあ。」とっていました。

泥に足をふみ入れたとき、ドロドロして気持ち悪かったです。鬼ごっこやかけっこや高とびをしました。鬼ごっこでは、橋口先生にどろをかけられたり、ぎゃくに橋口先生にどろをかけたりしました。次々と鬼が変わっていきました。かけっこではどろが飛んだり、どろに落ちたり、どろに足がうまったりしました。そのうちにだんだん慣れてきました。

高とびは、ぼくの番でとんだら「おっとっと」となりました。楽しかったです。アメンボやカエルもいました。

終わったときの気持ちは、どろんこになって嬉しい感じでした。大人になってもこれから一生こんな経験はないなあと思ひました。